

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより第23号
(令和4年12月)
文責 西澤 庄藏



苦渋の決断ですが、1・2年授業参観・学年PTAを中止とさせていただきます。

(スマホのあんしんメールでお知らせしましたが)今週12/9(金)授業参観・学年PTAを、「コロナ」感染拡大防止のため、中止としましたので、改めてお伝えいたします。11月は「コロナ」罹患者が多く、濃厚接触者を主な対象としてリモートでの授業配信を行うことが日常の光景となっていました。現在、ピークは過ぎた感がありますが、依然「日替わり」状態で「コロナ」罹患者が見られ、集会をリモート実施に変更するなど、引き続きの防止策を講じているところです。日々の授業はもちろんですが、今週末は市の新人大会バレーボール競技、県の新人大会剣道競技等、各種大会も控えています。いわば「晴れ舞台」に感染症関係で出場できないことがないよう、あくまでも生徒の活動を中心に、今回の中止も考慮したところです。

今後は生徒の活動場면을動画で配信するなど代替策も検討していきます。また、学校評価アンケート【後期分】で保護者の皆様のご意見を頂戴して、さらなる対応策も思案したいと考えています。

政府の「コロナ」感染症類型(2類相当から5類へ)見直しの検討開始との報道から、いずれは緩和する方向になりそうですが、新たな関係通知が発出されるまでは、「3密」回避等、基本的な対策を徹底していきます。ご家庭でも、引き続き、感染症防止に努めていただくとともに、同居のご家族に発熱等の症状がある場合は登校を控えていただくようお願いいたします。

運動部活動の「晴れ舞台」を応援しました。精一杯のプレーが見られました。

11/26(土)・11/27(日)諫早市の市営野球場にてプロ野球OBクラブ杯県大会が開催され、本校野球部も出場しました。市新人大会で顕著な成績を収めて出場権を獲得した価値あるものです。部員数減少は野球部でも例外ではなく総勢10名の少数精鋭で大会に臨みました。結果、「県大会の壁」に阻まれましたが、念願の県大会での勝利を手中にし、十分に戦うことができる自信を得た大会ともなりました。



12/3(土)市内の総合運動公園ライフカントリー多目的グラウンドにて市の新人大会サッカー競技が開催され、本校サッカー部も出場しました。こちらも総勢13名の少数精鋭で試合に臨みました。結果は、総当たり戦で1勝1敗の準優勝でした。一進一退の手に汗握る攻防でしたが、あと一步及びませんでした。雪辱を期すべく今後も注視していきたいと思ったひとときでもありました。

参加体験型学習に取り組み、「バリアフリー」について身をもって学びました。

11/24(木)1年生の学習風景を参観しました。写真のとおり参加体験型学習の一つとして車いす体験やアイマスク体験を行っていました。社会福祉協議会の方々を講師としてお招きして共生社会についての学習とのでした。

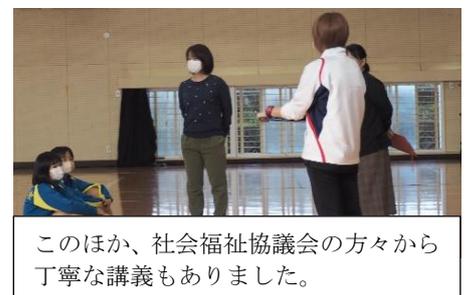
人権学習の目的は、単に知識や技能を身につけるだけでなく、人権感覚・人権意識を高めることもあります。他学年でも、手話について学習するなど、多岐にわたる「学び」がありました。一人一人の存在と可能性を大切にす明日の社会を形成するため、今後も人権学習を続けていきたいと感じたひとときでした。

アイマスク体験



(ガイド役)

車いす体験



このほか、社会福祉協議会の方々から丁寧な講義もありました。